

『2024年度 レフェリーの目標と6人制の重点指導項目』

JVA大会運営事業本部 審判規則委員会 指導部

1 目 標

- (1) 競技規則の精神を理解し、論理的・実践的な知識を習得する。
- (2) 正しい判定をするための眼を養い、そのための基本的な動きや位置取りを研究し、審判技術の向上に努める。
- (3) 多くの経験を通して、強いメンタルと人間性の醸成に努め、よりよいゲームマネジメントに繋げる。

2 重点指導項目

【ファーストレフェリー】

- (1) ハンドリング基準について
 - ・すべてのレフェリーが統一できるようにする。少なくとも、試合を通して一定した判定ができるよう基準をもつ。
 - ・特に、オーバーハンドを用いたプレーのハンドリング（キャッチ）について、同一の基準で判定を行う。
- (2) 不法な行為について
 - ・参加競技者の不法な行為に対しては、毅然とした態度で競技規則を適用する。
 - ・最終判定後、セカンドレフェリーと協働し、コートを確認する。
 - ・軽度な不法行為を繰り返すことがないために、早い段階でステージ1を与える。
- (3) ネット際の判定について
 - ・選手がネット際でボールをプレーする際、起こるであろうプレーを予測し、正確な判定を行えるよう、ベストなポジションニングで判定を行う。
- (4) ポジションの反則の判定について
 - ・サービスヒットの瞬間に、完全に入れ替り反則となるケースについて、確実に判定する。

【セカンドレフェリー】

- (1) 不法な行為についておよびベンチコントロールについて
 - ・ラリー終了後の相手選手に対しての言動について、最終判定後、ファーストレフェリーと協働しコートを確認する。
 - ・ネット際やベンチ等でファーストレフェリーが気づかない不法な行為があればファーストレフェリーに伝える。
- (2) ネット際の判定について
 - ・選手がネット際でボールをプレーする動作中、ボールを追わずにネット際に目を残し判定をする。
 - ・ペネトレーション等
- (3) ポジションの反則の判定について
 - ・サービスヒットの瞬間に、完全に入れ替わっているケースについて、確実に判定する。
- (4) 試合中のスコアラーのコントロール、不測の事態を的確に処置する。またスコアシートの最終確認を確実に行う。

【スコアラー】

サービス順の確認、得点の確認を常に行いながら、正確に記録をつける。疑わしいときは試合を止め、アシスタントスコアラー等に確認をしてミスの無いようにする。
(JVIMSがある場合は、その情報も参考にする)

【アシスタントスコアラー】

- (1) 不法なリベロリプレイメントの際の手順について、正確に行う。
- (2) スコアボードの得点が正しいか常に確認する。